

# 小・中学校における 租税教育指導事例集

平成 27 年 3 月

登米市租税教育推進協議会

## 市小・中学校における税教育実践のための教科書として

「平成26年度租税教育指導事例集」の発刊に当たり、一言申し上げます。

税制度は、国の運営の根幹を支える制度であり、大変重要なものであります。税制度のあり方は、私たちの生活、暮らしに直接結び付く、とても大切なものとなっております。

国民一人一人が、税金について、またその使い道等に関心を持ち、多くの皆さんの間で、「税」について議論されることは、望ましい姿であると思います。

しかしながら、一般的に個人が税について学習する場面や機会がそう多くないことも事実です。

このような中、市内小・中学校において、税制度の仕組みについて学習し、私たちの生活に果たす役割を知る租税教育は、誠に意義深いものです。

小・中学校の授業において、その指導のあり方について研究、実践を行い、具体的に様々な事例として紹介する本書は、極めて有効な税教育実践のための教科書であると認識しており、その効果が大いに期待されるものです。

本年度は小学校8校、中学校2校の実践事例が紹介されていますが、いずれの学校でも、小学生に対して、また中学生を対象に「税」を理解させるため、さまざまな工夫を凝らしながら取り組まれており、今後の教育活動にも大変参考になるものであります。

各学校においても、ここに紹介されています実践事例を、ぜひ参考にさせていただきたいものと考えております。

結びに、登米市租税教育推進協議会の運営と、今回の実践研究の取りまとめに当たっていただいた佐沼税務署の皆様のご尽力、さらには各小・中学校教育現場の先生方のご努力とご支援に心から感謝を申し上げ、本書発刊に際してのあいさつとさせていただきます。

平成27年3月

登米市租税教育推進協議会会長

登米市教育委員会教育長

片倉敏明

# 目 次

## 小学校指導事例

① 第6学年	新田小学校	教諭	鈴木健太郎	1
② 第6学年	登米小学校	教諭	伊藤敬	5
③ 第6学年	米川小学校	教諭	高橋寛	7
④ 第6学年	宝江小学校	教諭	鈴木真亀子	11
⑤ 第6学年	豊里小学校	教諭	千葉恵理子	17
⑥ 第6学年	米山東小学校	教諭	五十嵐裕子	23
⑦ 社会科	南方小学校	教頭	後藤善史	27
⑧ 教務主任	柳津小学校	教諭	菅原満夫	31

## 中学校指導事例

① 社会科	新田中学校	教諭	箱石雄悟	35
② 社会科	豊里中学校	教諭	中津川英樹	37

平成26年度	租税教育推進協力者	39
--------	-----------	----

平成26年度	登米市租税教育推進協議会	構成員名簿	40
--------	--------------	-------	----

歴代租税教育推進協力者	41
-------------	----

## 第6学年 租税教育実践例

登米市立新田小学校

教諭 鈴木健太郎

### 1 小単元名 「税金の働きを調べる」

### 2 本時の目標

税金がさまざまな方法で集められ、公共的な事業に使われていることに気付かせるとともに、公共施設の建設や地域の開発、公共サービスには税金が深くかかわっていることを理解させる。また、国民生活の安定と向上を図るために、税金がいかに大切な働きしているかを考えさせる。

### 3 本時の評価規準

- ・税金の種類や使い道に関心をもち、進んで調べようとしている。【関意態】
- ・国民生活の安定と向上を図るために、税金がいかに大切な働きをしているかを考えている。【思判表】
- ・資料を活用して、必要な情報を集めて読み取っている。【技能】
- ・税金の集め方や、その使われ方、納税の大切さを理解している。【知理】

### 4 指導に当たって

本時では、税金の種類やその集め方を理解させ、税金によって国民の生活が成り立っていることに気付かせたい。そして、税金がいかに大切な働きをしているかを考えさせたい。そこで、本時では、「財務省キッズコーナー」のサイトを活用して授業を展開し、税金についての理解を深めさせたいと考えている。

### 5 本時の板書計画

税金の働きを調べる

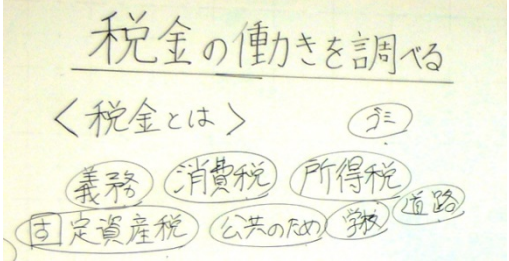


〈税金って何だろう？〉


- ・消費税
- ・国や市の予算，国のお金
- ・国会議員の給料（歳費）

税金の種類や集め方，使われ方を調べ，何のために税金があるのかを考えよう。

税金には多くの種類があり，さまざまな方法で集められていることが分かった。そして，税金によって，私たちの生活が支えられていることに気付いた。

## 6 学習の流れ

<p style="text-align: center;">学 習 内 容</p> <p>○主な発問 ・予想される児童の反応</p>	<p>○指導の留意点</p> <p>※準備物等</p>
<p>1 税金とは何かを考えさせる。</p> <p>○税金って何だろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・消費税</li> <li>・国や市の予算，国のお金</li> <li>・国会議員の給料（歳費）</li> </ul> <p>2 本時の課題を知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>税金の種類や集め方，使われ方を調べ，何のために税金があるのかを考えよう。</p> </div> <p>3 調べ学習に取り組む。</p> <p>○税金の種類やその使い道について調べましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「財務省キッズコーナー」を使い，必要な情報を調べる。</li> </ul> <p>4 調べたことを発表する。</p> <p>○税金にはどのような種類がありましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・消費税，住民税，所得税，固定資産税，法人税，酒税，入湯税</li> </ul> <p>○税金の使い道にはどのようなものがありましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会保障（年金，医療費，福祉）</li> <li>・国債費（国の借金）</li> </ul>	<p>○税金とは何かを考えさせ，自由に多くの意見を発表させることで，税金についての関心を高めさせていく。また，教師との話し合いの中から，課題意識をもたせていく。</p> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;">  </div> <p>○「財務省キッズコーナー」のサイトを使用させ，税金の種類や使い道について一人一人に調べさせる。</p> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;">  </div> <p>※「財務省キッズコーナー」</p> <p>○全体で発表させることで，考えを共有させる。</p> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;">  </div>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・地方交付税交付金</li> <li>・教育や科学技術</li> <li>・公共事業</li> </ul> <p>5 税金を納める義務について考える。</p> <p>○「なぜ税金を納めなければならないのか」自分の考えを書き、発表しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国民の生活を守るため</li> <li>・安心して暮らせるように</li> <li>・税金は国民の会費だから</li> </ul> <p>6 授業で学んだことや考えたことを発表する。</p>	 <p>○考え付かない児童には、「もし税金が無かったら国民の生活はどうか」を考えさせることで、税金がいかに大切な働きをしているのかに気付かせる。</p> <p>○学習感想を発表させる。</p>
---	--

## 7 授業後の児童の感想

- ・税金が無いと、公共サービスが無くなってしまいます。例えば、今は救急車を呼んだら無料で乗って病院に運んでもらえるけれど、救急隊員から「1回のご利用につき〇〇円かかります。先にお支払いをお願いします。」と言われたら困ってしまう。だから、税金は私たちの生活にとってとても大切なものだと思います。
- ・公共施設は、私たちの税金でつくられているため、税金を納めなければ学校や公園が無くなるなど、何かと不便になる。税金は、病院、学校、道路など私たちの生活に欠かせないものをつくるために納める必要がある。
- ・自分たちが税を払うことによって、公共施設が整い、不自由なく暮らせる。つまり、払っているのは自分たちのため、税金を払わなかったり、無かったりすると生活が不便になる。

## 8 実践を振り返っての成果と今後の課題

実践の成果は、税金の種類や集め方など、税の仕組みについての調べ学習に取り組みせる際に「財務省キッズコーナー」を活用したことで、児童は税について深く学びを進めることができた。そして、納税することがいかに大切であるかを考えることができた。

今後の課題は、税に関する指導計画を年間指導計画により明確に位置付けていかなければならないと考える。



## 平成26年度 租税教育実践事例（第6学年）

登米市立登米小学校  
教諭 伊藤 敬

### 1. 本時の指導

- (1) 題材名 「税金の働きを調べる」
- (2) ねらい
  - ・税金の仕組みを理解するとともに、税金とわたしのくらしや政治とのつながりについて理解する。
- (3) 準備物
  - ・租税教育資料、教科書、資料集、パソコン、指導用DVD、大型テレビ、1億円レプリカ
- (4) 授業の様子



①知っている税金の種類について



②税金についての意識調査



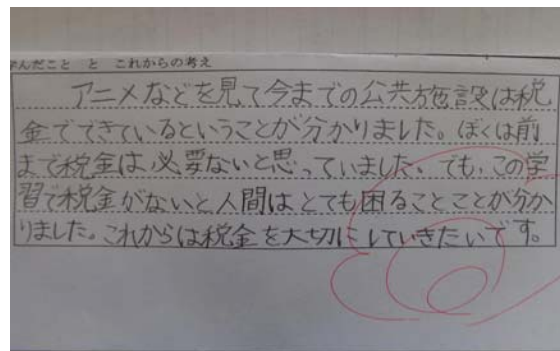
③DVDによる税金の必要性



④1億円の重さを体験

### 2. 授業後の児童の感想

- |   |
|---|
| ○ 今回の学習を通して、税金で私たちの生活が支えられているということが分かりました。これからは、今まで以上に税金が増えていくかも知れませんが、私はこれからの日本の役に立てるように、大人になったらきちんと税金を納めていきたいと思います。 |
| ○ どうして増税するんだろうと思っていました。けれど、この学習を通して税金が国や県や市民のためになるのであれば少しくらい増えてもいいと思えるようになりました。                                       |







# 平成26年度 租税教育実践例（第6学年社会科）

登米市立米川小学校

教諭 高橋 寛

## 1 単元名 わたしたちの生活と政治

### 2 単元について

本単元は学習指導要領の目標「(2) 日常生活における政治の働きとわが国の政治の考え方及びわが国と関係の深い国の生活や国際社会におけるわが国の役割を理解できるようにし、平和を願う日本人として世界の国々の人々と共に生きていくことが大切であることを自覚できるようにする。」の内容について学習する単元である。

学習内容は、わたしたち国民の生活には地方公共団体や国が行う政治の働きが反映されていることについて資料を活用したり、身近な生活の中から調べたりする中で、政治が国民生活を安定させている仕組みや暮らしを支えるために大切な働きをしているということをとらえさせ、理解を深めることである。

単元は前半の「地方公共団体や国の政治の働き」と後半の「日本国憲法の基本的な考え方」の2つで構成されており、その中で税金の果たす役割について知り、その種類などについても学んでいく。

### 3 児童の実態（男7名 女5名 計12名）

ほとんどの子が税金という言葉を知っており、どんな税があるかについて尋ねても、消費税だけでなく、所得税やガソリン税など数種類出てきた。折しも消費税が8%に上がったこともあり、子どもたちから「どうして税金が上がったのか」「上がることで払うお金が多くなった」などという声が聞かれ、税についての関心は高かった。

税金の使途については、「みんなの暮らしのため」「国会議員さんの給料」など、税の仕組みや使い道については良く分からない様子だった。そこで、自分たちの暮らしのために、税金が必要だということを深く理解させ、税金について正しい知識を身に付けさせたい。

### 4 指導の着眼

児童の実態を踏まえて、次の点に留意して指導にあたる。

- ① これまでに学んだ日本の歴史の中で「租、庸、調」「年貢」「地租」などの税が古くからあったことを想起させ、税への関心を高め、理解をより深める。
- ② 国民の義務として、納税の義務があるということを学び、税の必要性を押さえる。
- ③ ゲストティーチャーとして税務署の方を迎えて、税金について詳しい話を聞き、その意味や仕組み、使い道などを理解させる。

## 5 単元目標

地方公共団体や国の政治の働きに興味をもち、国民生活には地方公共団体や国の政治の働きが反映していること、政治は国民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていることを理解するとともに、我が国の政治の働きと国民生活との関わりを考えようとする。

## 6 指導計画（9時間扱い 本時4／9）

時	おもな学習活動	指導上の留意点
1	○子育て支援センターの見学 ・子育て支援センターを見学し、利用者にインタビューして、幼い子どもをもつ親の願いについて話し合う。	・子育て支援センターでやっている活動の様子やアンケートの結果から、利用者の願いについて考えさせる。
2	○ソーレの活動 ・子育て支援センターを見学したり、所長さんの話を聞いたりして、どんな目的で、どんな活動が行われているのかを調べる。	・子育て支援センターで行われている、様々な活動の目的について考えさせる。
3	○住みよいまちを目指して ・市役所や市議会を見学したり、市役所の人の話を聞いたりして、市役所や市議会の働きについて調べる。	・子育て支援センターの活動が始められた経過について、市役所や市議会の働きと関連付けて調べる。
4 本 時	○税金の働きを調べる ・子育て支援センターを建設したり、運営したりする費用や学校の校庭の整備や耐震工事などの費用がどこから出ているかを考える。	・子育て支援センターにかかる費用をもとに、税金が重要な役割を果たしていることについて気付かせる。 ・税務署の方をゲストティーチャーに迎えて税金の役割の重要性をとらえさせる。
5	○国の政治1－国会の働き ・国会や選挙に関する資料を収集して調べ、国会の仕組みや働き、選挙の役割について、分かったことや考えたことを話し合う。	・国会の働きや選挙の役割について、国民の願いとの関係で調べさせる。
6	○国の政治2－内閣の働き ・内閣に関する資料を収集して調べ、内閣の仕組みや働きについて、わかったことや考えたことを話し合う。	・内閣の仕組みや働きについて、国民の願いとの関係で調べさせる。
7	○国の政治3－裁判所の働き ・裁判所に関する資料を収集して調べ、裁判所の働きについて、わかったことや考えたことを話し合う。	・裁判所の働きについて、国民の権利との関係で調べさせる。

8	○登米市のいろいろを調べてみよう ・登米市で行われている、様々な福祉事業について、収集した資料を基に調べる。	・登米市の福祉事業について、グループや個人で調べさせる。
9	○街づくりにわたしたちの声を生かそう ・学習したことをもとに、みんなの願いを生かした公園をつくるために、どのようなことに配慮したらよいかを話し合う。 ○国民の祝日について考えよう ・国会で作った法律によって定められた国民の祝日について、話し合う。	・子どもやお年寄りなど、いろいろな人が公園に対してどのような願いをもっているかを考えさせる。 ・それぞれの祝日について、設けられた意義について考えさせる。

## 7 本時の学習

(1) 小単元名 「私たちの願いを実現させる政治—税金の働きを調べる—」


(2) 本時のねらい



税金の働きを知ることで、税金がわたしたちの生活のための大切な役割を果たしていることに気づき、税金の必要性や大切さを理解する。

(3) 準備物

・学習資料「わたしたちの暮らしと税金」 ・PC ・スクリーン

(4) 学習過程

段階	●学習活動 Gゲストティーチャー ・児童の反応	○指導上の留意点 ◇評価
つかむ 5分	● 本時の学習課題を知る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">税金の働きについて考えよう。</div>	○税金の働きや仕組みについて知り、自分たちの生活とどう関わっているかについて学ぶことを知らせる。
考える 35分	● ゲストティーチャーの話を聞き、税金について考える。 ● 知っている税金を挙げる。 G：皆さんの知っている税金には何がありますか？ ・消費税 ・自動車税 ・ガソリン税 ・所得税 G：日本の消費税は8%になりましたが、高いですか？ ・高い ・5%のままでよかった ● 世界の消費税を知る。 G：世界の国の消費税は日本と比べてどうか見てみましょう。	○税金には種類（国税と地方税や直接税と間接税など）があることをつかませる。  【税金の種類について知る】

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 20%以上の国が多い。</li> <li>・ 日本はまだ安いほうだ。</li> <li>・ ヨーロッパが高い。</li> </ul> <p>●税金を払う必要があるかどうか発表する</p> <p>G：税金は払う必要がありますか？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 払う必要がある・・・・・・・・・・6人</li> <li>・ 払わなくていい・・・・・・・・・・2人</li> <li>・ どちらともいえない・・・・・・・・4人</li> </ul> <p>●鑑賞教材「マリンとヤマトの不思議な日曜日」を鑑賞する。</p> <p>G：ビデオを見てどうでしたか？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 税金がないと大変。</li> <li>・ いろんなところに使われていることが分かった。</li> </ul> <p>●学校と税金の関係を考える。</p> <p>G：学校にもたくさんの税金が使われています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 机やいすも税金なんだ。</li> <li>・ 7万円もかかるの。</li> </ul> <p>●1億円のレプリカを持ち、量や重さを体験する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 重い</li> <li>・ こんなに量があるの</li> </ul>	 <p>【税金を払う必要があるか】</p> <p>○税金がないとどうなるかを知らせる。</p>  <p>【1億円の重さと量を体感】</p>
<p>ま と め る  5 分</p>	<p>●税金を払う必要があるかどうか再度確認する。</p> <p>G：税金は払う必要がありますか？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 払う必要がある・・・・・・・・・・12人</li> </ul> <p>●感想を発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 税金がないと、学校や道路や信号がなくなって大変なことが分かった。</li> <li>・ 税金が自分たちの暮らしに役立っていることが分かった。</li> </ul>	<p>○導入部と同じ発問を行い、税金の役割や大切さに対する自分の認識の変化をとらえさせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>◇税金の必要性や大切さを知り、納税の義務について考えることができたか。</p> </div>

## 8 児童の感想

- ・ 税金がないと、学校に来るのに月7万円もかかることを知ってびっくりした。税金は大切なんだと思った。
- ・ 1億円があんなに重いとは思わなかった。お金の大切さが良く分かった。
- ・ 消費税が上がって高くなったけど、払わないと道路が壊れても修理できなかつたり、信号が動かなかつたりして生活が大変になるんだと思った。税金は暮らしのためには必要なんだということが分かった。

# 平成26年度 租税教育実践例（第6学年社会科）

登米市立宝江小学校

教諭 鈴木 真亀子

- 1 単元名 「わたしたちの生活と政治」  
小単元名 「わたしたちの願いを実現する政治」

## 2 小単元の目標

### (1) 小単元の目標

- ・地方公共団体や国の政治の働きに関心をもち、国民生活には地方公共団体や国の政治の働きが反映していること、政治は国民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていることを理解する。
- ・地方公共団体や国の政治の働きに関する社会的事象から学習問題を見出し、公共施設を見学したり各種資料を活用したりして調べたことをまとめるとともに、政治は国民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていることを考え、適切に表現する。

### (2) 観点別の目標

#### 【社会的事象への感心・意欲・態度】

- ・子育て支援事業など、地方公共団体や国の政治の働きに関心をもち、進んで調べようとしている。

#### 【社会的な思考・判断・表現】

- ・子育て支援事業など、地方公共団体や国の政治の働きについて、学習問題や予想、学習計画を考え表現するとともに、地方公共団体が市民の願いを取り入れながら国と協力していること、政治は国民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていることについて考え、適切に表現する。

#### 【観察・資料活用の技能】

- ・子育て支援事業など、地方公共団体や国の政治の働きについて、子育て支援施設や市議会などを見学したり、各種資料を活用したりして、必要な情報を集めて読み取り、レポートや作品等にまとめる。

#### 【知識・理解】

- ・地方公共団体や国の政治の基本的な考え方やしくみ、子育て支援などの事業を実現するために地方公共団体が市民の願いを取り入れながら国と協力していること、これらの事業を進め国民生活の安定と向上を図るために政治が大切な働きをしていることを理解する。

## 3 本単元の指導について

### (1) 単元について

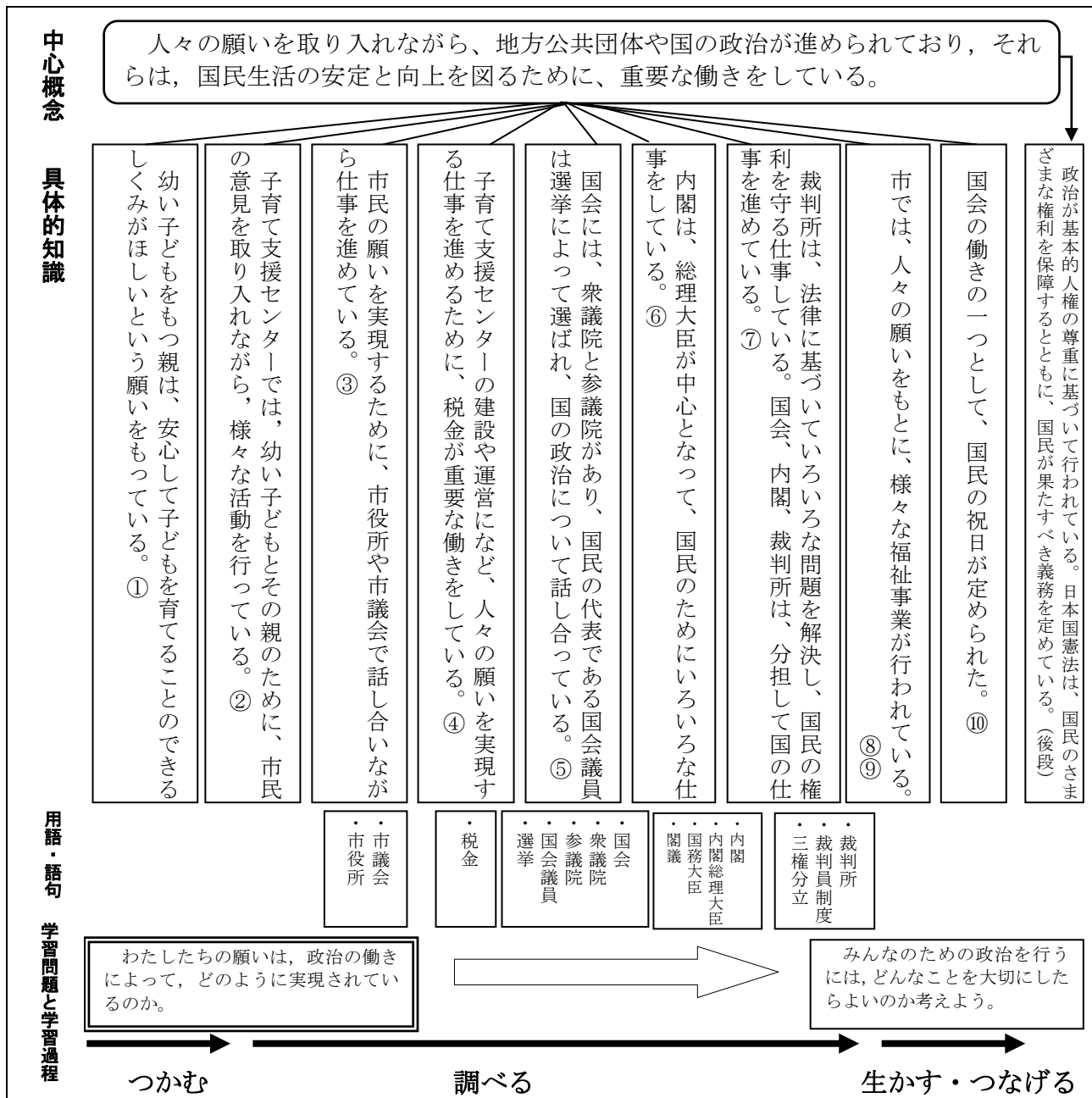
本単元は、学習指導要領の内容2(2)ア「国民の生活には地方公共団体や「国の政治の働きが反映していること。」とイ「日本国憲法は、国家の理想、天皇の地位、国民としての権利及び義務など国家や国民生活の基本を定めていること。」を受けて設定した。これにより、単元の構成は大きく二つに分かれており、前段では地方公共団体や国の政治の働きについて、後段では日本国憲法の基本的な考え方について学んでいく。本小単元は前段部分にあたり、国民の願

いを実現するために政治が行われ、そのために税金が果たす大きな役割について学ぶことができる内容となっている。そして、後段部分の、日本国憲法の基本的人権の尊重や国民の義務の一つ「納税の義務」についてつなげていくことができる単元となっている。

(2) 知識の構造図

【学習指導要領】

(2) 我が国の政治の働きについて、次のことを調査したり資料を活用したりして調べ、国民主権と関連付けて政治は国民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていること、現在の我が国の民主生活は日本国憲法の基本的な考え方に基づいていることを考えよるようにする。  
 ア 国民生活には地方公共団体や国の政治の働きが反映していること。  
 イ 日本国憲法は、国歌の理想、天皇の地位、国民としての権利及び義務など国家や国民生活の基本を定めていること。



(3) 児童の実態 (男14名 女13名 計27名)

① アンケートから (平成26年12月16日実施)

① 「税金」という言葉を知っていますか。	・知っている 27名	・知らない 0名
② どんな「税金」を知っていますか。(複数回答)	・消費税 17名 ・分からない 10名	・関税 15名
③ 「税金」はどんなことに使われていますか。(複数回答)	・みんなのために使われている 7名 ・建物 10名 ・分からない 10名	・給料 15名

(4) 指導の着眼

- ① 社会科「1日本の歴史」で学習した、租・庸・調や年貢，地租改正などの「税」に関する内容を想起させ，現代の「税収制度」との相違点なども考えながら，税についての理解を深めさせる。
- ② 税金の種類や納め方，使われ方等については，児童の身近なものを取り上げ，ポイントをしばって指導する。
- ③ 税についての理解が一層深められるよう，ゲストティーチャーとして佐沼税務署の方を招き，専門的な立場から税について指導していただく。
- ④ 税金について，疑問や分からないことを課題に設定させ，家族への取材等の調べ学習に進んで取り組むことができるようにする。

#### 4 学習計画 (本時 4 / 10 時間)

小単元	時	目標	学習活動	おもな評価規準
わたしたちの願いを実現する政治	1	○子育て支援センターの利用者の願いや活動の様子について関心をもって調べることができる。	・子育て支援センターを利用している，幼い子どもをもつ親の願いについて話し合う。	【関】 子育て支援センターの利用者の願いや活動の様子について関心をもって調べている。
	2	○子育て支援センターで行われている活動が，市民の願いに基づいていることを理解する。	・子育て支援センターの所長さんの話 (デジタル教科書動画) を聞き，どんな目的で，どんな活動が行われているのか調べる。	【知】 子育て支援センターで行われている活動が，市民の願いに基づいていることを理解している。
	3	○わたしたちの願いを実現するための，市の政治の働きの重要性について考え，適切に表現することができる。	・市役所の人の話 (デジタル教科書動画) を聞いて，市役所や市議会の働きについて調べる。	【思】 わたしたちの願いを実現するための，市の政治の働きの重要性について考え，適切に表現している。
	4 (本時)	○市民の願いを実現するために税金が重要な役割を果たしていることについて，理解する。	・ゲストティーチャー (佐沼税務署の方) のお話を聞いて，税金の働きについて調べる。	【知】 市民の願いを実現するために税金が重要な役割を果たしていることについて理解している。
	5	○国会は，国民の願いに基づいて国の政治について話し合っていること，国会議員は選挙で選ばれていることを理解する。	・国会や選挙に関する資料を収集して調べ，国会のしくみや働き，選挙の役割について，分かったことや考えたことを話し合う。	【知】 国会は，国民の願いに基づいて国の政治について話し合っていること，国会議員は選挙で選ばれていることを理解している。



6	○内閣は、総理大臣が中心となって、国の仕事を進めていることを理解する。	・内閣に関する資料を収集して調べ、内閣のしくみや働きについて、わかったことや考えたことを話し合う。	【知】内閣は、総理大臣が中心となって、国の仕事を進めていることを理解している。
7	○裁判所は、法律に基づいて、さまざまな問題を解決し、国民の権利を守る仕事をしていることを理解する。 ○政治の働きと国民生活とを関連づけて考え、政治の働きは国民生活の安定と向上に大切な役割を果たしていることをまとめることができる。	・裁判所に関する資料を収集して調べ、裁判所の働きについて、分かったことや考えたことを話し合う。 ・学習したことをもとに、国会、内閣、裁判所の関係について話し合う。 ・政治の働きについて、これまでに学習して分かったこと、考えたことをまとめる。	【知】裁判所は、法律に基づいて、さまざまな問題を解決し、国民の権利を守る仕事をしていることを理解している。 【思】政治の働きと国民生活とを関連づけて考え、政治の働きは国民生活の安定と向上に大切な役割を果たしていることをまとめている。
8	○登米市で行われている、さまざまな福祉事業に関心をもつ。	・登米市で行われているさまざまな福祉事業について、収集した資料をもとに調べる。	【関】登米市で行われている、さまざまな福祉事業に関心をもっている。
9	○公園に対するいろいろな人々の願いを考え、それらの意見を尊重しながら話し合ったり自分の意見をまとめたりすることができる。	・学習したことをもとに、みんなの願いをいかした公園をつくるために、どのようなことに配慮したらよいかを話し合う。	【思】公園に対するいろいろな人々の願いを考え、それらの意見を尊重しながら話し合ったり自分の意見をまとめたりしている。
10	○それぞれの祝日の意味や由来を調べ、それぞれの祝日が設けられた意義について自分の考えをもつことができる。	・国会でつくった法律によって定められた国民の祝日について話し合う。	【思】それぞれの祝日の意味や由来を調べ、それぞれの祝日が設けられた意義について考えたことを話し合っている。

## 5 本時の指導にあたって

### (1) 本時の学習

税金の働きを調べる

### (2) 本時の目標

- 税金がわたしたちの生活に重要な役割を果たしていることと、納税が国民の大切な義務であることを理解する。

### (3) 本時の指導の着眼

- ・ 税についての理解が一層深められるよう、ゲストティーチャーとして佐沼税務署の方を招き、専門的な立場から税について指導していただく。
- ・ 税金がない世界を知ることで、なぜ税金を納めることが国民の義務になっているかを考えさせ、日本国憲法の学習へとつなげていく。




### (4) 本時の評価規準とその評価方法

#### 【知識・理解】

市民の願いを実現するために税金が重要な役割を果たしていることを理解することができたか。

(発言・ノート)

(5) 学習過程

段階	学習内容	学習の様子や児童の反応
導入	1 本時の学習課題を知る。 <u>税金の働きについて考えよう。</u> 2 ゲストティーチャーの自己紹介を聞く。	<ul style="list-style-type: none"> <li>税金はどんな働きがあって、自分たちの生活とどのように関係しているのかな。</li> <li>税務署の方から税金について学ぼう。</li> </ul>
展開	3 ゲストティーチャーの話を聞きながら、税金について考える。 (1) 知っている税金の名前を挙げる。  (2) 世界の消費税率を知る。  (3) 税金を支払うことについて考える。 ○みなさんは税金を支払いたいですか。  4 DVDを視聴し、税金の必要性を考える。 ○税金がなくなったらどうなるだろう。  5 学校内の設備と税金の関係を考える。 ○税金がなければ、学校で勉強するのに、どれだけお金がかかるか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>消費税や関税は知っているよ。</li> <li>たばこを買う人は、代金の半分以上を税金として支払っているんだ。</li> <li>日本の消費税率は世界の中で低いんだ。</li> <li>消費税が高い国は、医療費が無料になっているんだ。</li> </ul>  <ul style="list-style-type: none"> <li>税金は支払うべきだと思う。</li> <li>税金はできれば支払いたくない。</li> <li>税金は支払いたくない。</li> <li>火事になったら、消火に多額のお金がかかってしまう。</li> <li>街の中がごみだらけになってしまう。</li> <li>道路や橋を渡るのにお金を払わなければならなくなってしまう。</li> <li>1か月に7万円、年間80万円以上かかってしまうんだ。</li> <li>学校は税金で無償になっていてよかった。</li> </ul>
終末	6 税金の必要性について確認する。 ○税金について学んで、税金を支払った方がよいと思いましたか。  ○1億円の重さを体験してみよう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>やっぱり税金は必要。支払うべき。</li> <li>(「税金は必要」との考えに全員が挙手)</li> </ul>  <ul style="list-style-type: none"> <li>1億円はこんなに重い。</li> </ul> 

<実践授業後>

○児童のノートより

今日の税金についての授業で  
分かったこと、考えたこと、  
自分が大人になったらどうするか

分かったことの  
税金は、たくさん種類がある。  
国、県、市町村別に税金がはらわ  
れている。  
私が知っていた消費税は、国に  
おさめていたこと。  
公園や道路、信号機なども税金で  
管理されていること。

考えたこと  
税金がないと生活が苦しくなるよ  
うなこと

自分が大人になったらどうするか  
税金をはらう  
税金がなくならないように守る

分かったことの  
国によって税金の金額がらうこと  
金額が日本よりも高いところか  
アメリカは州によって税の金額が  
らう

たくさん税金について知ることができた。

今日の税金について  
分かったこと、考えたこと、  
自分が大人になったらどうするか

税金は、たくさん種類がある。  
国、県、市町村別に税金がはらわ  
れている。  
私が知っていた消費税は、国に  
おさめていたこと。  
公園や道路、信号機なども税金で  
管理されていること。

税金がないと生活が苦しくなるよ  
うなこと

自分が大人になったらどうするか  
税金をはらう  
税金がなくならないように守る

国によって税金の金額がらうこと  
金額が日本よりも高いところか  
アメリカは州によって税の金額が  
らう

税金の勉強で分かったこと  
税金は、たくさん種類がある。  
国、県、市町村別に税金がはらわ  
れている。  
私が知っていた消費税は、国に  
おさめていたこと。  
公園や道路、信号機なども税金で  
管理されていること。

税金がないと生活が苦しくなるよ  
うなこと

自分が大人になったらどうするか  
税金をはらう  
税金がなくならないように守る

国によって税金の金額がらうこと  
金額が日本よりも高いところか  
アメリカは州によって税の金額が  
らう

税金について

分かったこと  
学校で使う教科書やいす、机なども  
税金で買っていた。  
税金が無くなると、火事や地震な  
どの災害などの復きゅうが出来な  
い。(まんはおそくなる)

考えたこと  
税金が無くなれば...  
保育支設、老人ホームなどが作れ  
なくて困る人がでてくる。

税金は、とっても大事!

自分が大人になったら  
大人になれば、自分も税金をはら  
うきがいが増えてくるので、税金  
のじゃうようせいを考えてはらう  
税金。て?

消費税・タバコ税・しゅ税  
軽自動車税...など。

○学級通信より



～必要!～

今週の水曜日、佐沼税務署の佐藤さんに、税金について詳しく教えていた  
だきました。始めは、「税金は必要なのかどうか分からない・・・。」と考  
えていた子どもたちですが、税金が生活に重要な役割を果たしていることを知  
り、学習の最後の「税金は必要ですか?」の佐藤さんの質問には、全員が「必  
要!」と挙手しました。



昨日の社会の時間には、「おうちの人が納めている税金の種類」について調  
べてきたことを発表し合いました。たくさんの種類の税金を納めていること、  
それがみんなの生活を支えていることに気付きました。そして自分たちもそ  
の中で生かされていることにも気付き、おうちの方々に改めて感謝していま  
した。

お知らせ・お願い

## 平成26年度 租税教育実践事例（第6学年）

登米市立豊里小学校  
教諭 千葉 恵理子

- 1 単元名 社会科「わたしたちの生活と政治」～わたしたちの願いを実現する政治～  
—— 豊かな暮らしと政治・税金とのかかわりを考える ——

### 2 指導にあたって

#### (1) 単元について

本単元の主な学習内容は、「国民生活には地方公共団体や国の政治の働きが反映していること、日本国憲法は、国家の理想、天皇の地位、国民としての権利および義務など、国家や国民生活の基本を定めていることを調査したり資料を活用したりして調べ、我が国の政治の働きを具体的に考えるようにすること」である。また、本単元は「わたしたちの願いを実現する政治」と「わたしたちの暮らしと日本国憲法」の二つで構成されている。本実践の「わたしたちの願いを実現する政治」では、地域の公共施設の建設を取り上げ、その事業が国民生活の安定と向上を図ろうとする地方公共団体や国の政治の働きによるものであることを理解させるとともに、政治に関心をもたせることをねらいとしている。市民の願いがどのように反映されているかを具体的にとらえさせながら、完成までの経過を議会、選挙、税金の働きとを関連させて考えさせていくものである。

現在、世界一の長寿国である我が国は、将来世界でも最も少子高齢化の進んだ国になるだろうとも予想されている。このような情勢の中で将来を担っていく子供たちにとって人間らしい豊かな生活を保障するため財源をどのように確保し、どのように利用していくことが大切かを考えさせることは非常に大切なことであるといえる。

#### (2) 児童の実態

児童は、日常生活において税金を特に意識したり関心をもって考えたりする経験をほとんどもっていないのが実態である。また、新聞やテレビの報道などから、「税が高い」「税金の無駄遣い」などの情報を知識として何となくもっている児童もおり、「税」に対する子供たちの素直なイメージは、決してプラスの方向には働いていないことも分かる。最も身近な「消費税」ですら、「取られている」と感じている児童が多いことも子供らしい素直な気持ちの表れであろうと思われる。

このことから、本単元の活動を通して、租税の意義や役割を正しく理解させ、社会の一員としての自覚を育て、主権者意識をもたせることは、次の小単元「わたしたちの暮らしと日本国憲法」にもつながる点からも、大変有意義なことと思われる。

#### (3) 指導の着眼

児童の実態を踏まえて、以下のような点に留意して指導に当たりたい。

- ① 「身近な公共施設は誰がお金を出して建てたのか？」ということからスタートし、まちの中で、国や県、市町村のお金でつくられているものを探し調べる活動の中から、自分たちも税の恩恵を受けていることに気付かせていく。それらが税金でまかなわれていることをしっかり理解することで、わたしたちの安定した豊かな暮らしには、税金の果たす役割が大きいことを実感させたい。
- ② ゲストティーチャーとして、登米法人会の方々に来ていただき、専門的な立場からの話を聞く「租税教室」を実施することによって、児童の興味関心を高め、税金についての理解を一層深めていく。
- ③ 学習のまとめとして、「豊かな未来を実現するために消費税は10%増税か？8%現状維持か？」という討論を行う。「増税」が新聞などで話題になっている中、豊かな未来を創造していくためには税金はどうあるべきかという問題について、6年生なりに真剣に考え、話し合うことにより、単元のまとめとする。さらに次時の学習内容「主権者としての国民の役割の自覚」にもつなげていきたい。併せて、租税標語づくりにも取り組ませる。

### 3 単元の目標




- 生涯学習センターの建設を取り上げて、その事業が国民生活の安定と向上を図ろうとする地方公共団体や国の政治の働きによるものであることを理解し、政治に関心をもつ。
- 生涯学習センターや市議会などの見学や調査を行ったり、収集した資料を活用したりして政治の働きを調べ、政治は国民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていることを考える。

### 4 単元の学習計画（10時間扱い）

時間	主な学習活動と内容	指導上の留意点
1	① 生涯学習センターについて調べよう ・身近にある公共施設について調べ、公共施設がどのような役割をもっているか話し合う。	○ 学び方コーナーを参考に、調べる計画を立て、主体的に取材ができるようにする。
2	② 生涯学習センターができるまでを調べる ・生涯学習センターは、住民の願いのもとに政治の働きによってつくられたことを調べ、まとめる。	○ 願いの吹き出しやアンケートのグラフを丁寧に読み取らせ、政治の働きに気付かせる。
3	③ 市議会のしくみや働きを調べる ・センターができるまでの市議会の働きをまとめ、税金の働きへの関心をもつ。	○ センターの建設に果たした議会の役割をもとに、議会の働きについて話し合わせる。
4	④ 税金の働きを調べる ・公共施設の建設費用と税金の関係や、税金の働きについて調べ、まとめる。	○ 税金の働きをまとめさせ、租税教室への関心をもたせる。
5	⑤ 租税教室（税金について知ろう） ・税金の役割や必要性を知り、税金に関する興味・関心、理解を深める。	○ 税金がわたしたちの生活にとって必要であることに気付かせ、税金の働きについてとらえさせる。
6	⑥ 討論会を開こう ・豊かな未来を実現するために消費税は10%増税か？8%現状維持か？パネルディスカッションをする。	○ 豊かな未来を創造していくためには、税はどうあるべきか、自分なりの意見をもって話し合わせる。
7	⑦ 租税標語を作ろう ・租税教室を振り返り、学んだことを基に、租税標語を作る。	○ 租税教室で使用した資料や感想カードを確認させながら、税金に対する思いを標語に表すことができるようにする。
8	⑧ 国会の働き ・国会が国の政治に果たす役割について調べ、市議会の働きと比べる。	○ 市議会の働きと比較させ、表に整理させる。
9	⑨ 選挙の大切さについて考えよう ・政治の働きと選挙の関連をまとめ、図に表現するとともに、選挙の大切さについて話し合う。	○ 政治の働きと結び付けて、その大切さを考えさせる。投票率の低さも考えさせる。
10	⑩ もう一度“公共”と政治について考えよう ・学習を振り返り、公共とはどのようなことなのかを考え、公共をよりよくしていくための考えを発表する。	○ 公共について話し合った後に、ノートに自分の意見をまとめさせ、それを発表させる。

5 実践の記録

(1) 実践1「税金について知ろう」～租税教室～

段階	学 習 活 動 ・ 学 習 の 様 子
つ か む	<p>1 本時の活動内容の確認とゲストティーチャーの紹介をする。</p> <div data-bbox="284 353 1425 454" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>今日は、ゲストティーチャーとして登米法人会の大畑さん、西條さんに来ていただきました。お話をよく聞いて、「税金」について考えましょう。</p> </div> <p>2 学習課題を知る。</p> <div data-bbox="496 495 1046 562" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>◎「税金」の働きについて考えよう</p> </div>
調	<p>3 税金の種類について考える。</p> <div data-bbox="309 622 718 667" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>みんなの知っている税金は？</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「消費税」については、すぐに出てきたが、それ以外についてはなかなか出てこなかった。</li> <li>○「消費税」以外にもいろいろな税金がある。</li> <li>○「入湯税」という温泉に入るときにかかる税金もあることにびっくりする児童。</li> </ul> <div data-bbox="290 703 647 936" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">  </div> <div data-bbox="667 831 991 875" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>税金は必要だろうか？</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○今の気持ちはどっち？の質問に「税金はいらない、払いたくない」に挙手した児童は11名。「払うべき、税金は必要」は、15名。「分からない」は2名。</li> <li>○「入湯税」という温泉に入る時にかかる税金にも驚いている様子。</li> </ul> <p>4 「マリンとヤマト不思議な日曜日」を視聴する。</p> <div data-bbox="309 1122 826 1167" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>税金がなくなったらどうなるのかな？</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○事故を起こしても、救急車を呼ぶと料金がかかる。</li> <li>○火事になったら、有料になって大変。</li> <li>○信号機が動かず、交通渋滞になる。</li> </ul> <div data-bbox="999 1039 1410 1357" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">  </div>
べ  る	<p>5 税金の内容や使い道について考える。</p> <div data-bbox="309 1375 963 1420" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>税金がなかったら、小学校の月謝はいくらかな？</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○①3万円、②5万円、③7万円の三択形式のクイズが出された。児童のほとんどが5万円に挙手。正解は7万円。「え〜！」の驚きの声。</li> </ul> <div data-bbox="309 1541 1155 1585" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>小・中・高の12年間で一人当たりどのくらい教育費がかかるか？</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○1058万円かかることを知り、もし税金がなかったら、各家庭にとって大変な負担になることが分かった。</li> </ul> <div data-bbox="316 1666 673 1908" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">  </div> <div data-bbox="963 1666 1262 1711" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>税金の使い道は？</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○学校の中にあるほとんどのものは税金で買ったものである。(机、椅子、教科書、理科の実験用具など)</li> <li>○警察、消防、ゴミの収集、除雪などにも税金が使われている。</li> </ul> <div data-bbox="284 1912 906 1957" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>税金の使い道は、だれがどうやって決めるの？</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○国民の代表である議員が国会で話し合い、予算を決定する。</li> <li>○国と同じように住民(県民や市町村民)の代表者が議会で予算を決める。</li> </ul>

国民の三大義務を知っているかな？

- 「教育を受けさせる義務」「勤労の義務」「納税の義務」がある。
- 税金はすべての国民が健康で豊かな生活を送ることができるようにするためにみんなが出し合う会費である。

ま  
と  
め  
る

6 1億円のレプリカの重さを体感し、お金の価値について考える。

持ってみての感想は？

- 予想していたよりもうんと重い。
- 税金は大切なものだった。
- 税金のことが詳しく分かり、大人になったら税金を必ず納めようと思った。



【児童の感想文より～租税教室を終えて～】

・税金は何に使われているのか、あまり詳しく分からなかったけど、わたしたちが使っている教科書や公園の整備、まちの人たちが利用している施設の建設などに使われていることが分かりました。また、ビデオやコンピュータを使つての説明も分かりやすかったです。税金がないと、国は成り立っていかないので、税金は国を支えるとても大切なお金だということが分かりました。

・税金がなかったら、世の中がうまく成り立たないことが分かりました。信号機や道路などは、みんなのものだと当たり前になっていましたが、全部税金でみんなのものとしていることを初めて知りました。こうして、学校に来ることができるのも、税金があるおかげです。

(2) 実践2 「討論会を開こう～豊かな未来を実現するために消費税は10%増税か？8%現状維持か？～」

【消費税10%増税賛成！】11名



- ・消費税が上がるのは少し困るけど、国の税金がなくなったらもっと困ると思うので、値上げたほうがいい。
- ・税金が底をつく大変。それに結局損はしないと思う。
- ・税金が足りなくなって、福祉関係や高齢者の方たちの医療費などが大変になる。普段からみんなが払う消費税を10%払うほうが安定すると思う。
- ・国の税金が足りなくなって、学校にも大金を払わなくてはならなくなったら大変です。
- ・今の日本は高齢化社会。デイサービスや老人ホームなどに行く人が多くなる。でも、その利用代が高いので入れない人もたくさんいる。増税すれば、多くの人が福祉施設を利用できるようになる。

- ・10%なんて高すぎ。10%にすると買い物に行く人が減ってしまう。不況になってしまう。
- ・道路工事やダム建設などの無駄遣いをしなければならなくなる。国会議員の給料も高すぎる。
- ・国で勝手に値上げされるのは困る。無駄なことに税金が使われないよう節約する。
- ・値上げするのは簡単だし、確かに豊かなとは思いますが、2%値上げで困る人はいる。働いていない若い人は、大人としてしっかり働かなくちゃいけないと思う。



(3) 実践3「租税標語づくり」～児童がつくった標語から～



6 まとめ

- 登米法人会の方々から租税教育教材を提供いただき、租税教室を開催できたことは、子供たちの税の学習に対する興味・関心を高める上で大変効果的だった。子供たちは、専門的な知識や情報の提供で、「初めて分かった」「もっと知りたい」「確かめたい、調べたい」という意欲をもち、その意欲を継続させながら主体的に取り組ませることができた。
- 「消費税10%増税賛成か？消費税8%現状維持か？」の討論会では、全員がしっかりと自分の考えをもつことができた。「増税」が新聞などで話題になっている中、豊かな未来を創造していくために、税金はこのままでいいのかという問題について、互いに意見を聞きながら自分の考えを深めることができた。討論を通して、子供たちは税金は自分たちの未来にとって非常に大切なもの、真剣に考えていかななくてはならない問題という認識をはっきりもつことができた。
- 租税標語作りの活動には、どの児童も楽しく意欲的に取り組むことができた。作品は子供らしい素直な視点から、税の必要性や納税の義務を訴えたもの、税の正しい使い方を促したものなどが多かった。どの作品からも子供たち一人一人が、税を身近なもの、自分たちの暮らしに必要不可欠なものとして、とらえていることがうかがえた。
- 租税教育は、租税の意義や役割を子供たちに正しく理解させ、社会の一員としての自覚を育てることを目的とし、1968年から学習指導要領に記載された。しかし、社会科の通常の授業では、税に触れる部分のごくわずかしかなければならないというのが実状である。今回、租税教育実践の機会をいただき、活動に取り組む中で「税金」を核として、自分たちの暮らしと政治のかかわりをとらえさせていくことがとても効果的であることを実感することができた。税を自分自身の問題としてとらえる姿勢は今後の学習内容「主権者としての国民の役割の自覚」にもつながっていくものである。





## 租税教育実践事例

登米市立米山東小学校  
教諭 五十嵐 裕子

### 1 目標

- ・ 税の仕組みや税の大切さを知り、税の使われ方に興味を持ち、租税の意義や役割を理解する。

### 2 活動計画

題材名	学習のねらい	参考資料等
登米の歴史探訪	登米町の街並みや歴史施設の見学を通して、登米市のよさに気付いたり、住みよい町づくりを目指している人々の工夫に気付いたりする。	各施設のパンフレット、 専門職員の話
学校の施設と設備	学校施設と設備の資金がどこから出ているかを知り、他の公共施設も大切に使おうという気持ちを持つ。	「私たちの暮らしと税金」 (小学校社会科用学習資料)
わたしたちの暮らしと日本国憲法	日本国憲法と我が国の政治や国民生活との関連に関心を持ち、我が国の民主政治が日本国憲法の基本的な考え方に基づいていることを理解する。	新しい社会 6年下 (教科書) 「私たちの暮らしと税金」
租税教室	税の仕組みや税の大切さを知り、税の使われ方に興味を持ち、租税の意義や役割を理解する。	ゲストティーチャー 「私たちの暮らしと税金」
公共施設と政治について考えよう	学習を振り返り、公共施設と政治の関係について考えを深める。	「私たちの暮らしと税金」 (小学校社会科用学習資料)

### 3 本時の学習

#### (1) 本時のねらい

- ・ 税金は私たちの生活にとって必要なものであり、税金は公共のために使われていることを理解する。

#### (2) 準備物

＜教師，ゲストティーチャー＞

- ・ スクリーン，プロジェクター，PC，DVD，TV

＜児童＞

- ・ 筆記用具      ・ 「私たちの暮らしと税金」(小学校社会科用学習資料)

#### (3) 学習の実際



	学 習 活 動	
つ か む	1 本時の学習内容を確認し、ゲストティーチャーの紹介をする。 2 学習課題を知る。 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">税金の働きについて考えよう</span>	

調 べ る	3 税金について考える (ゲストティーチャー)	
	(1) 知っている税金を発表する。 ・消費税 ・所得税 ・住民税 ・法人税 ・相続税 . . . . .	
	(2) 消費税について説明を聞く。 ・外国の消費税よりも低いなあ。 ・国によって税率が違うんだ。	
	(3) 税金の種類について、日常の具体的な場面を例に説明を聞く。 ・国税と地方税があるのか。 ・どっちも取られているんだ。 ・いろんな税金があるんだ。	
	(4) 税金は必要かどうか考える。 ・税金は入らない・払いたくない (3名) ・税金は必要だ・払うべき (30名) ・わからない (2名)	
	(5) 「マリンとヤマト 不思議な日曜日」のDVDを見る。 ・税金が無くなったらどうなるのかな？ ・ゴミ収集がなくなる。 ・警察や消防は有料で仕事をする。 ・信号が動かない。 ・道路や橋は個人管理でお金がかかる。	
	(6) 宝くじには税金がかかるか考える。 ・宝くじにかかる税金はない。 ・所得税かな。	
(7) 1億円のレプリカを実際に持ってみて、実質的な「1億」の重さを知る。		
ま と め る	4 税の使い方や納税の義務について知る	
	(1) 税金が生活の中でどう使われているか知る。 ・消防署, 警察署, ゴミ処理, 信号, 公民館等の公共施設に使われる。 ・3月の大震災のがれきの処理, 仮設住宅の建設, 学校の修理にも使われたんだ。	
	(2) 税金の使い道は誰がどうやって決めるのか知る。 ・税金の使い道は, 国会や県議会, 市議会で決まるんだ  (3) 国民の三大義務について確認する。 ・「教育を受けさせる義務」 ・「勤労の義務」 ・「納税の義務」 ・「税金」は, みんなが安心して生活できる社会を作るために必要なんだ。 ・「税金」は, お互いが助け合って生活するために, みんなが公平に負担するものなんだ。 ・税金は必要だ・払うべきだ。	

5 学習を振り返り感想を発表する。

- ・税金の大切さが分かった。
- ・税金がないと、当たり前前に生活していた全てのものにお金を支払わなければならなくなることを知った。
- ・税金があるおかげで、安心して生活できる。

#### 4 評価

- (1) 税金の働きについて理解できたか（発表，観察）。
- (2) 税金は公共のために使われていることを理解できたか（発表，観察）。
- (3) 税金の必要性が理解できたか（発表，観察）。

#### 5 児童の感想

- ・税金がなくなると、国民の暮らしが苦しくなるということを知りました。
- ・国税，県税，という種類や数が分かりました。
- ・税金がなくなったら，教科書など，全部お金がかかりすごく大変だなと思いました。
- ・消費税なんていらないと思っていましたが，税金の大切さが分かりました。
- ・税金は，みんなが幸せに暮らすために欠かせないものであることが分かりました。

<児童の手紙より>

法人会の方へ  
法人会の方々、本当にありがとうございました。いろいろな税があるのは知っていたけど、たばこ税などがあることにとてびっくりしました。もしも税がなくなると時のごとを考えると、本当にたいへんだなと思いました。税のことを知らなかつた時は、消費税が上がっていて、いやだ、たけど、本当に税は、大切なことが分かりよかったです。たくさんの税のことを教えていただき、本当にありがとうございました。

私は今回の租税教育教室で、今までも税の大切さは理解してきたつもりでしたが、知らないこともたくさん分かりました。税は貧しい人のために使われるというイメージでしたが、私たち日本国民の誰もが安心して豊かなくらしをするために使われているということを理解でき、今ここで「学べる」ということのありがたみを実感する良い機会になりました。卒業に向けて、今回感じた感謝の気持ちをこれからの日々の生活にあらわしていこうと思います。



# 平成 26 年度 租税教育実践例（第 6 学年社会科）

登米市立南方小学校  
教頭 後藤 善史

## 1 単元名 わたしたちの生活と政治

小単元 わたしたちの願いを実現する政治

## 2 指導にあたって

### (1) 単元について

本単元は、学習指導要領の内容（2）を受けて「地方公共団体や国の政治の働き」と「日本国憲法の基本的な考え方」に分けて学習を展開していく。政治の働きと国民生活との関係について具体的な事柄を取り上げること

で国会などの議会政治や選挙の意味、国会と内閣と裁判所の三権相互の関連、租税の役割について理解させる。租税の役割については、国や県、市によって行われている社会保障、災害復旧、地域の開発などに必要な費用は税金によって賄われていること、それらは国民の納税によることを理解し、租税が大切な役割を果たしていることを理解させる。

### (2) 児童の実態（男 15 名、女 17 名、計 32 名）

税金の働きについて学習するにあたり、「税」についての児童の実態を調査した。税金について、「消費税」をあげる児童が多かった。しかし、「住民税」「自動車税」などの税金の種類について理解している児童は少数であった。「税金の使われ方」については、「公共施設」や「みんなのため」など、漠然としか捉えていないことが分かった。

### (3) 指導の着眼

児童の実態を踏まえて、次の点に留意して学習を進めたい。

- 教科書に例として挙げられている子育て支援センターがどのようにして建設されたのかを調べることを通して、公共施設が建てられる手順や建設・運営の費用が税金で賄われていることについて理解させる。
- 登米法人会よりゲストティーチャーを招き、税金の種類や使われ方及びその必要性について理解を深める。
- 「くらしと税金」（小学校社会科学習資料）を活用し、税に関する知識や身近な暮らしについて考えさせる。

## 3 小単元の目標

- 地方公共団体や国の政治の働きに関心をもち、国民生活には地方公共団体や国の政治の働きが反映していること、政治は国民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていることを理解する。
- 地方公共団体や国の政治の働きに関する社会的事象から学習問題を見だし、公共施設を見学したり各種資料を活用したりして調べたことをまとめるとともに、政治は国民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていることを考え、適切に表現する。

## 4 小単元の評価規準

### 【 社会的事象への関心・意欲・態度 】

子育て支援事業など、地方公共団体や国の政治の働きに関心をもち、進んで調べようとしている。

### 【 社会的な思考・判断・表現 】

子育て支援事業など、地方公共団体や国の政治の働きについて、学習問題や予想、学習計画を考え表現するとともに、地方公共団体が市民の願いを取り入れながら国と協力していること、政治は国民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていることについて考え、適切に表現している。

### 【 観察・資料活用の技能 】

子育て支援事業など、地方公共団体や国の政治の働きについて、子育て支援施設や市議会などを見学したり、各種資料を活用したりして、必要な情報を集めて読み取り、レポートや作品などにまとめている。

### 【 社会的事象についての知識・理解 】

地方公共団体や国の政治の基本的な考え方やしくみ、子育て支援などの事業を実現するために地方公共団体が市民の願いを取り入れながら国と協力していること、これらの事業を進め国民生活の安定と向上を

図るために政治が大切な働きをしていることを理解している。

## 5 指導計画（9時間扱い 本時4時間目）

時	おもな学習活動	指導上の留意点	評価の規準
1	子育て支援センターについて調べる ・子育て支援センターの利用者の願いから、幼い子どもをもつ親の思いや願いについて話し合う。	◆子育て支援センターでやっている活動の様子やアンケートの結果から、利用者の願いについて考えさせる。	子育て支援センターの利用者の願いや活動の様子について関心をもって調べている。〈関意態〉
2	ソレの活動とは ・子育て支援センターがどんな目的で、どんな活動が行われているのかを調べる。	◆子育て支援センターで行われている、様々な活動の目的について考えさせる。	子育て支援センターで行われている活動が、市民の願いに基づいていることを理解している。〈知理〉
3	住みよいまちを目指して ・市役所や市議会を見学したり、市役所の人の話を聞いたりして、市役所や市議会の働きについて調べる。	◆子育て支援センターの活動が始められた経過について、市役所や市議会の働きと関連づけて調べさせる。	わたしたちの願いを実現するための、市の政治の働きの重要性について考え、適切に表現している。〈思判表〉
4 本時	<b>税金の働きを調べる</b> ・公共施設を建設したり、運営したりするための費用がどこから出ているのかを考える。	◆ゲストティーチャー（登米法人会）の話から、税金が重要な役割を果たしていることについて気づかせる。	<b>市民の願いを実現するために税金が重要な役割を果たしていることについて、ゲストティーチャーからの情報を聞き取っている。</b> 〈技能〉
5	国の政治1－国会の働き ・国会や選挙に関する資料を収集して調べ、国会のしくみや働き、選挙の役割についてわかったことや考えたことを話し合う。	◆国会の働きや選挙の役割について、国民の願いとの関係で調べさせる。	国会は、国民の願いに基づいて国の政治について話し合っていること、国会議員は選挙で選ばれていることを理解している。〈知理〉
6	国の政治2－内閣の働き ・内閣に関する資料を収集して調べ、内閣のしくみや働きについて、わかったことや考えたことを話し合う。	◆内閣のしくみや働きについて、国民の願いとの関係で調べさせる。	内閣は、総理大臣が中心となって、国の仕事を進めていることを理解している。〈知理〉
7	国の政治3－裁判所の働き ・裁判所に関する資料を収集して調べ、裁判所の働きについて、わかったことや考えたことを話し合う。 ・学習したことをもとに、国会、内閣、裁判所の関係について話し合う。 ・政治の働きについて、これまで学習してわかったこと、考えたことをノートにまとめる。	◆裁判所の働きについて、国民の権利との関係で調べさせる。  ◆国会、内閣、裁判所の関係を考えさせる。	裁判所は、法律に基づいて、さまざまな問題を解決し、国民の権利を守る仕事をしていることを理解している。〈知理〉  政治の働きと国民生活とを関連づけて考え、政治の働きは国民生活の安定と向上に大切な役割を果たしていることをまとめている。〈思判表〉
8	もっといろいろ調べてみよう ・東松山市で行われている、さまざまな福祉事業について、収集した資料をもとに調べる。	◆東松山市の福祉事業について、グループや個人で調べさせる。	東松山市で行われている、さまざまな福祉事業に関心をもっている。〈関意態〉
9	まちづくりにわたしたちの声を生かそう ・学習したことをもとに、みんなの願いをいかした公園をつくるために、どのようなことに配慮したらよいかを話し合う。	◆子どもやお年寄りなど、いろいろな人が公園に対してどのような願いもっているかを考えさせる。	公園に対するいろいろな人の願いを考え、それらの意見を尊重しながら話し合ったり自分の意見をまとめたっている。〈思判表〉
	国民の祝日について考えよう ・国会でつくった法律によって定められた国民の祝日について、話し合う。	◆それぞれの祝日について、設けられた意義について考えさせる。	それぞれの祝日の意味や由来を調べ、それぞれの祝日が設けられた意義について考えたことを話し合っている。〈思判表〉




## 5 本児の学習

### (1) 題材名 「税金の働きを調べる」

### (2) 本時のねらい

税金が私たちの生活に重要な役割を果たしていることや納税が私たちの大切な義務であることを理解する。

(3) 学習過程

	学習活動	学習の様子や児童の反応	準備物
つかむ	<b>1 本時の学習課題を確認する。</b> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">私たちの生活と「税金」との関わりを考えよう。</div> <b>2 ゲストティーチャーを迎える。</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゲストティーチャー，登米法人会の佐藤さんから「税金」について話を聞く。</li> </ul>	
	<b>3 ゲストティーチャーの話聞き，税金について考える。</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・税金の種類について考える。</li> <li>・世界と比較しながら，消費税について詳しく知る。</li> <li>・税金の必要性について考える。</li> </ul> <b>4 「マリンとヤマト不思議な日曜日」のDVDを視聴する。</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・税金が無かったら，身の回りの生活がどんなことになるかを想像する。</li> <li>・税金がどのように使われているのかを知る。</li> </ul> <b>5 税金が学校やそこで学ぶ自分たちに，どのように使われているのか考える。</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校にあるものや，自分たちが学習に使っているものに多くの税金が充てられていることを知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・税金にはいろいろな種類があるんだ。</li> <li>・世界の中で日本は消費税が安いんだ。</li> <li>・消費税が高い国では，医療費が無料なんだ。</li> <li>・税金がないと，火事に消防やゴミ処理，道路の補修などができないんだ。</li> <li>・税金がないと，安心・安全な暮らしができないんだ。</li> <li>・自分たちが通っている学校にもたくさんの税金が使われているんだ。</li> <li>・先生達の給料も税金なんだ。</li> <li>・教科書も税金なんだ。</li> <li>・中学校，高校になると，もっとお金がかかるんだ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パソコン</li> <li>・TV</li> </ul>  <ul style="list-style-type: none"> <li>・DVD プレーヤー</li> <li>・TV</li> </ul> 
まとめる	<b>6 税金の必要性について確認する。</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・納税は国民の義務であり，税金によって住みよい社会が実現できていることを理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・税金は絶対に必要だと思う。</li> <li>・働くようになったら税金を納めよう。</li> </ul>	

(4) 評価

- 生活する上で税金は重要な役割を果たしていることを理解することができたか。
- 納税は国民の大切な義務であることを理解することができたか。

6 成果と課題

- 税金の学習は教科書だけでは理解しにくいですが，登米市法人会の方からDVD等を活用して指導していただいたことで，児童が税を身近なものとして考えることができた。
- 具体的な生活場面を取り上げて，税金の種類や使われ方について学んだことで，今後の実生活の中で税について関心を持ち考えていこうとする意欲が高まった。
- 納税について意識づけることは大切なことであるが，児童期の子供たちに理解させるのは難しいと感じた。





## 租税教育実践事例（第6学年）

登米市立柳津小学校 教諭 菅原満夫

### 1 はじめに

小学生の子どもたちに税金について指導するのはなかなか難しい内容である。4月に消費税が8%に引き上げられ大きなニュースとなったが、消費税は知っているが、他の税金にどのような種類があり、どのような使われ方をしているかまで調べるのは大変な作業である。できる限り、租税教室を行っていただいているが、子どもたちに分かりやすく説明して下さるのでとても助かっている。本年度は6年「わたしたちの願いを実現する政治」の中で租税教室を計画的に取り入れ、実践した。子どもたちの学習に効果的な租税教室を実施し、それを含めた学習計画を立案することによって、児童にとってかならずしも身近には感じられない税金の働きや公共事業と自分たちの生活との関連等も学習することができる考えた。

### 2 実践例

#### 1) 小単元名

わたしたちの願いを実現する政治

#### 2) 小単元の目標

- ① 地方公共団体や国の政治の働きに関心を持ち、国民生活には地方公共団体や国の政治の働きが反映していること、政治は国民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていることを理解する。
- ② 地方公共団体や国の政治の働きに関する社会的事象から学習問題を見だし、公共施設を見学したり各種資料を活用したりして調べたことをまとめるとともに、政治は国民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていることを考え、適切に表現する。

#### 3) 評価規準

- 社会的事象への関心・意欲・態度  
子育て支援事業など、地方公共団体や国の政治の働きに関心を持ち、進んで調べようとしている。
- 社会的な思考・判断・表現  
子育て支援事業など、地方公共団体や国の政治の働きについて、学習問題や予想、学習計画を考え表現するとともに、地方公共団体が市民の願いを取り入れながら国と協力していること、政治は国民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていることについて考え、適切に表現している。
- 観察・資料活用の技能  
子育て支援事業など、地方公共団体や国の政治の働きについて、子育て支援施設や市議会などを見学したり、各種資料を活用したりして、必要な情報を集めて読み取り、レポートや作品などにまとめている。
- 社会的事象についての知識・理解  
地方公共団体や国の政治の基本的な考え方やしくみ、子育て支援などの事業を実現するために地方公共団体が市民の願いを取り入れながら国と協力していること、これらの事業を進め国民生活の安定と向上を図るために政治が大切な働きをしていることを理解している。

4) 指導計画 (本時4 / 10)

	○おもな学習活動 ・ 内容	指導上の留意点
つかむ	①子育て支援センターの見学 ○子育て支援センターを見学し、利用者にインタビューして、幼い子どもをもつ親の願いについて話し合う。(1時間)	○子育て支援センターで行っている活動の様子やアンケートの結果から、利用者の願いについて考えさせる。
調べる	②ソーレの活動 ○子育て支援センターを見学したり、所長さんの話を聞いたりして、どんな目的で、どんな活動が行われているのかを調べる。(1時間)	○子育て支援センターで行われている、様々な活動の目的について考えさせる。
	③住みよいまちを目指して ○市役所や市議会を見学したり、市役所の人話を聞いたりして、市役所や市議会の働きについて調べる。(1時間)	○子育て支援センターの活動が始められた経過について、市役所や市議会の働きと関連づけて調べさせる。
	④税金の働きを調べる (本時) ○子育て支援センターを建設したり、運営したりするための費用がどこから出ているのか、収集した資料をもとに調べる。(1時間)	○子育て支援センターにかかる費用とともに、税金が重要な役割を果たしていることについて気づかせる。
	⑤税金の種類や税金の使い方について知る。(租税教室) (1時間)	○税金の種類や使い方について理解するとともに税金の大切さに気付くことができるようにする。
	⑥国の政治1－国会の働き ○国会や選挙に関する資料を収集して調べ、国会のしくみや働き、選挙の役割について、わかったことや考えたことを話し合う。(1時間)	○国会の働きや選挙の役割について、国民の願いとの関係で調べさせる。
	⑦国の政治2－内閣の働き ○内閣に関する資料を収集して調べ、内閣のしくみや働きについて、わかったことや考えたことを話し合う。(1時間)	○内閣のしくみや働きについて、国民の願いとの関係で調べさせる。
	⑧国の政治3－裁判所の働き ○裁判所に関する資料を収集して調べ、裁判所の働きについて、わかったことや考えたことを話し合う。 ○学習したことをもとに、国会、内閣、裁判所の関係について話し合う。 ○政治の働きについて、これまで学習してわかったこと、考えたことをノートにまとめる。(1時間)	○裁判所の働きについて、国民の権利との関係で調べさせる。  ○国会、内閣、裁判所の関係を考えさせる。
まとめる・いかす	⑨もっといろいろ調べてみよう ○東松山市で行われている、さまざまな福祉事業について、収集した資料をもとに調べる。 ・東松山市では、人々の願いをもとに、さまざまな福祉事業が行われていること。(1時間)	○東松山市の福祉事業について、グループや個人で調べさせる。
	⑩－1まちづくりにわたしたちの声を生かそう ○学習したことをもとに、みんなの願いをいかした公園をつくるために、どのようなことに配慮したらよいかを話し合う。(0.5時間)	○子どもやお年寄りなど、いろいろな人が公園に対してどのような願いもっているかを考えさせる。
	国民の祝日について考えよう ○国会でつくった法律によって定められた国民の祝日について、話し合う。(0.5時間)	○それぞれの祝日について、設けられた意義について考えさせる。

5) 本時の活動

(1) 題材

税金のはたらきを調べる

(2) ねらい

子育て支援センターにかかる費用をもとに、税金が重要な役割を果たしていることについて気づかせる。

(3) 準備物 デジタル教科書 副読本「税金のはなし」

(4) 学習過程

段階	学 習 活 動	主な支 援 (○) と 評 価 (※)
つ か む 5分	1 前時の活動を振り返り、子育て支援センターでかかる費用について話し合うことを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">子育て支援のための費用はどこから出るのでしょうか。</div>	○デジタル教科書で前時までの学習を振り返り公共事業で使われている費用がどこから出されているのかをつかむことができるようにする。
調 べ る 30 分	2 子育て支援センターでかかる費用について話し合う。 ○ 建物の建設 ○ 運営 ・ 働く人の給料 ・ 設備の修理 ・ 絵本やおもちゃ  3 費用の出るところについて調べる。 ○ 市役所の収入 ・ 税金 ・ 補助金 ・ 借りるお金  4 税金の集められ方や使われ方と使われ方について調べる。 集められ方 ・ ものを買ったとき ・ 働いて収入を得たとき ・ 土地や家をもっている人から 使われ方 ・ 教育 ・ 消防や警察 ・ 道路の建設 ・ ごみの収集	○教科書を参考にどんなことにお金がかかるのかを話し合わせる。運営面については分かりづらい面があるので児童から出ない場合は教師側で出していく。  ○デジタル教科書を活用し、どこから出てくるお金で費用がまかなわれているのかをとらえやすくする。  ○税金については、分かりづらいので身近な消費税の話題を出し、そのほかにどんな税があるのかを教科書や副読本を参考にしながら考えることができるようにする。  ○税金の使われ方も教科書の図や副読本を参考にしながら話し合いを進める。

まとめる 10分	<p>5 子育て支援センターのための費用についてまとめる。</p> <p>子育て支援センターのための費用は、税金を使っている。 税金はみんなのための仕事（公共的な事業）に使われている。</p> <p>6 次時の学習内容について知る。</p> <p>○ 租税教室で税金について税務署の方から話を聞くことを知る。</p>	<p>○税金の使われ方が分かりやすくなるよう子育て支援センターの建築や運営などみんなの願いを実現するために税金が使われていることを子どもたちのことばでまとめていく。</p> <p>※公共事業には税金が重要な役割を果たしていることに気付くことができたか。</p> <p>○次時は租税教室を行い、税金の使われ方等について分かりやすく話していただくことを知らせ、関心を高める。</p>
-------------	--	---

6) 租税教室の様子と児童の感想

いろいろな税金があるのが分かりました。  
税金がないとみんなが困ることが分かってよかったです。



「税金についての説明を受ける」

突然1億円が出てきてびっくりしました。  
1億円はとても重かったです。



「1億円の重さを感じて」

# 平成26年度 租税教育実践事例（第3学年）

登米市立新田中学校  
教諭 箱石雄悟

## 1 単元名 「地方の政治と自治」

## 2 単元の目標

自分たちが住む地域社会への関心を高め、住民の一人として地方自治の発展に寄与しようとする自治意識の基礎を身に付ける。

## 3 単元について

本単元では、地方の政治が住民による自治を通して地域社会の福祉実現のために行われていることを学ぶ。具体的な学習内容としては、地方の政治の制度としくみ、地方分権、市町村合併、直接請求権など多岐にわたる。その学習内容の一つとして、政策を考えるうえで必要な要素である財政についても扱っていく。

地方公共団体の財源は、自主財源としての租税収入と依存財源である国庫支出金や地方交付税交付金等であり、各自治体が確保した収入が住民の利益のために支出されている。具体的な資料を活用し、どのような政策にどれだけの経費が掛かっているかを調べることで、政治への参加意識を高めさせる効果が期待できる。また、地方の政治を財政面から捉えようとする学習を行うことにより、身近な地域の政治が租税によって支えられていることを理解させたい。

## 4 指導計画（本時3 / 5）

学習時間	題 材 名	おもな学習内容
第1時	わたしたちと地方自治	住民自治，地方公共団体，地方分権
第2時	地方自治の制度	地方議会と首長，直接請求権
第3時	地方財政	地方財政の現状と課題
第4時	住民参加の拡大	市町村合併，住民運動の広がり
第5時	わたしたちの政治参加	身近な地域のまちづくり

## 5 本時の学習について

(1) 題材名 「地方財政」

(2) 学習のねらい

○地方公共団体の財政について、登米市の一般会計決算を資料にその現状と課題をつかむ。

○地方公共団体の財源が税金であること、またそれが自分たちの生活と暮らしに直接結びついていることを認識する。


(3) 指導にあたって

本単元の学習では、資料として実際に自分たちが住んでいる宮城県と登米市に関わるものをできるだけ多く活用していく。魅力ある学習素材は、生徒の学習意欲を高めるだけでなく、学んだことが実生活と結びついていることを認識でき、一層の学習効果を期待できる。本時では、中心的な資料として登米市が発行している「広報とめ」に掲載された、登米市一般会計決算報告を用いることとした。

この資料からは、市民一人当たりの金額も表示されていること、依存財源の割合が登米市は全国平均よりも高いことがわかる。各歳出項目に示されている具体的な金額を知ることによって、自分たちの生活が租税で支えられていることを実感させることができる。本単元で学習したことを生かし、「国民生活と福祉」の単元で詳しく租税と国家財政について学習していくこととする。

導入	<p>学習活動 <b>課題</b> ・予想される生徒の反応</p> <p>1 地方公共団体の財政について、教科書の資料（地方財政のしくみ）から現在の状況をつかむ。</p> <p>2 地方交付税交付金と国庫支出金について、それぞれの目的を理解する。</p>	<p>○留意点、※資料及び準備物</p> <p>○グラフの意味を確認する。「国税」「地方税」については簡単な用語の説明に留める。</p>
展開	<p>3 本時の学習課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>登米市で使われているお金は、どのように確保され、どのようなことに使われているのだろうか。</p> </div> <p>4 登米市の一般会計決算を見て、読み取ったことをノートに書き出す。その後、発表しあい共有する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教育費が44億円も使われている。</li> <li>「民生費」とは具体的にどのようなものだろう。</li> <li>歳入が約500億円もある。</li> </ul> <p>5 自主財源および市税に着目し、その必要性を認識する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市税収入が74億円で、歳入の14%である。</li> <li>治めた税金が市民のくらしのために使われている。</li> </ul>	<p>※広報とめ「登米市一般会計決算」</p> <p>○租税については次章で扱うことを話し、税に関わる疑問点等はノートに書き出しておくよう指示する。</p>
終結	<p>6 登米市の財政について、課題を話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自主財源の割合が全国平均よりも低いので、市税収入をもっと増やすことはできないか。</li> <li>もったいない支出をしていないか、チェックすべき。</li> </ul> <p>7 住民として、また納税者として、どのように市政に関わっていきいたいと思うか、考えを出し合う。</p>	

【資料】 広報とめ 12月1日号 10、11ページ



環境への対応や災害対策の実施に約74億円の地方交付税が活用されています。また、国庫支出金は、下水道事業、老人保健施設事業等に活用されています。約10億円の市税収入が、下水道事業等に活用されています。また、国庫支出金は、下水道事業、老人保健施設事業等に活用されています。約10億円の市税収入が、下水道事業等に活用されています。

表 1 会計別決算状況 (単位：万円)

会計名	歳入決算額	歳出決算額	差引額
一般会計	489 億 8,759 万円	475 億 4,065 万円	24 億 4,714 万円
特別会計	110 億 8,146 万円	105 億 1,476 万円	5 億 6,671 万円
基金	7 億 8,314 万円	7 億 7,744 万円	570 万円
繰越金	80 億 9,090 万円	80 億 1,699 万円	7,391 万円
繰入金	8 億 9,388 万円	8 億 9,317 万円	71 万円
下水道事業	64 億 9,766 万円	62 億 7,189 万円	2 億 2,577 万円
その他	1 億 4,465 万円	484 万円	9,982 万円

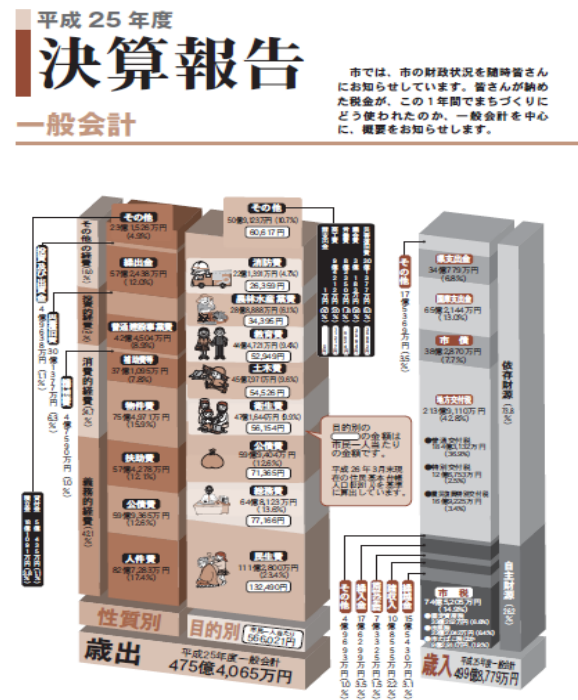
表 2 平成25年度決算に基づく健全化判断比率 (単位：%)

指標名	内容	健全化判断比率	基準値 (平成25年度)
① 実質赤字比率	一般会計の赤字額の大きさ	-	11.83
② 実質ゼロ達成率	一般会計赤字をゼロにするための健全化率	-	16.93
③ 経常収支比率	一般会計の収支にわたる健全化率	11.7	25.0
④ 経常黒字比率	経常収支にわたる健全化率	59.4	36.0

表 3 平成25年度決算に基づく資金不足比率 (単位：%)

区分	資金不足比率	資金不足額	基準値
① 下水道事業会計	-	21 億 4,886 万円	20.0
② 特別会計	-	64 億 9,946 万円	20.0
③ 基金	-	9 億 4,119 万円	20.0
④ 繰入金	-	7 億 4,651 万円	20.0
⑤ 下水道事業特別会計	-	1 億 1,371 万円	20.0



## 第3学年社会科学学習指導案

指導者 豊里中学校 教諭 中津川 英樹

### 1 単元名 国民生活と福祉

### 2 単元目標

- ・財やサービスを提供する，政府の経済的役割について理解させる。
- ・財政や租税の役割について，主権者として関心を持ち，より良い社会を目指すための制度の在り方を考えさせる。
- ・少子高齢化への対応や環境の保全，日本の経済発展など，経済上の諸問題に関心を持たせ，財源の確保と配分という観点から多面的・多角的に考察させる。

### 3 指導計画（7時間扱い）

時 間	題 材 名
第1時（本時）	政府の経済活動と租税
第2時	政府の役割
第3時	社会保障のしくみ
第4時	少子高齢化と財政
第5時	公害の防止と環境の保全
第6時	世界の中の日本経済
第7時	学習の補充と発展

### 4 本時の指導

#### （1）題材名 「政府の経済活動と租税」

#### （2）ねらい

- ・租税の仕組みと働きについて理解する。（知識・理解）
- ・国や登米市の財政状況を踏まえ，より良い税制の在り方について，根拠をもって考えることができる。（思考・判断・表現）

#### （3）準備物

生徒：教科書・ノート・資料集

教師：教科書・資料集・自作資料

#### （4）評価

- ①租税の仕組みと働きについて理解することができたか。（知識・理解）
- ②より良い税制の在り方について，納税者などのさまざまな立場から公正に判断できたか。  
(思考・判断・表現)



(5) 指導過程

段階	学習活動と予想される反応	指導及び教師のかかわり
導入	家庭学習（登米っ子）の確認 課題 ①私たちはなぜ税金を払うのか，その理由を書きなさい。 ②国及び登米市の歳入予算案のグラフから財政上の問題点を指摘しなさい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会資本の充実や福祉の向上に役立てられていること，国民の義務であることを確認する。</li> <li>・財政難，借金依存の現状と税収確保の重要性に気づかせる。</li> </ul>
展開	本時の学習課題を確認する Aさんはどんな税をおさめているか確認しよう。 課題に取り組む <ul style="list-style-type: none"> <li>・配布資料からAさんが納めている税の種類を読み取る。</li> <li>・読み取った税を国税と地方税，直接税と間接税で分類する。</li> <li>・累進課税制度について知る。</li> </ul> 税金を増やすために，どの税を増やせばよいだろう。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考えとその根拠をノートにまとめる。</li> <li>・班ごとに意見交換を行う。</li> <li>・全体で意見交換を行う。</li> </ul> <志教育の視点> 日本より良い未来を自己とのかかわりを通して考えている。(かかわる)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料：Aさんの給与明細，自動車税納付書，コンビニで買い物した際のレシート。レシートは消費税3%当時のものを使用し，生徒に指摘させたい。</li> <li>・国税と地方税，直接税と間接税の意味を確認しながら取り組ませる。</li> <li>・資料から読み取った所得税を例に，累進課税制度について説明する。</li> </ul> ※評価①  <ul style="list-style-type: none"> <li>・どの税を選んだかだけでなく，なぜ選んだかという理由が大切であることを強調する。</li> <li>・話し合いをとおして，直接税，間接税それぞれの特色に気づかせたい。また，様々な立場からの考えに触れさせたい。</li> </ul> ※評価②
終末	学習内容を整理する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・問題練習に取り組む。</li> </ul> 次時の学習課題（登米っ子）を知る。	※評価①

## 平成26年度 租税教育推進協力者

(順不同)

所 属	担任・担当	氏 名
登米市 迫町 新田小学校	6年生	鈴木 健太郎 教諭
登米市 登米町 登米小学校	6年生	伊藤 敬 教諭
登米市 東和町 米川小学校	6年生	高橋 寛 教諭
登米市 中田町 宝江小学校	6年生	鈴木 真亀子 教諭
登米市 豊里町 豊里小学校	6年生	千葉 恵理子 教諭
登米市 米山町 米山東小学校	6年生	五十嵐 裕子 教諭
登米市 南方町 南方小学校	社会科	後藤 善史 教頭
登米市 津山町 柳津小学校	教務主任	菅原 満夫 教諭
登米市 迫町 新田中学校	1年生・社会科	箱石 雄悟 教諭
登米市 豊里町 豊里中学校	1年生	中津川 英樹 教諭

# 平成 26 年度 登米市租税教育推進協議会構成員名簿

(敬称略)

役職名	所 属	氏 名
会長	登米市教育委員会 教育長	片倉敏明
幹事	宮城県東部教育事務所登米地域事務所 所長	大沼透
幹事	登米市小学校長会 会長	芳賀正光
幹事	佐沼税務署 署長	大木正
幹事	宮城県東部県税事務所登米地域事務所 所長	鈴木荘一郎
幹事	登米市税務課 課長	富士原徹
	県北高等学校長会 登米地区代表	小野寺清隆
	登米市中学校長会 会長	工藤輝雄
	登米市教育研究所 所長	加藤敬一
	登米市納税貯蓄組合連合会 会長	堀田繁雄
	公益社団法人登米法人会 会長	浅野俊
	登米市教育委員会 生涯学習課 課長	佐々木洋一

# 歴代租税教育推進協力者

昭和61年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名	
南方町	西郷小	2 学年	鈴木陽子	教諭
登米町	登米小	2 学年	長谷信一	教諭
米山町	善王寺小	3 学年	熊谷仁一	教諭
迫町	北方小	4 学年	豊原仁	教諭
南方町	南方小	6 学年	富士原啓子	教諭
迫町	佐沼小	6 学年	畠山信弘	教諭
石越町	石越中	社会科	菊田郁朗	教諭
東和町	東和中	社会科	小野寺達郎	教諭

昭和62年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名	
豊里町	豊里小	3 学年	今野文彦	教諭
米山町	中津山小	4 学年	伊東博敏	教諭
南方町	西郷小	4 学年	菅原満夫	教諭
登米町	登米小	5 学年	菅原純一	教諭
南方町	南方小	5 学年	成澤淑子	教諭
迫町	北方小	6 学年	中津川良子	教諭
登米町	登米中	社会科	鈴木幹雄	教諭
豊里町	豊里中	社会科	沼田芳孝	教諭

昭和63年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名	
迫町	北方小	1 学年	岩渕安弘	教諭
米山町	桜岡小	2 学年	海野達兄	教諭
登米町	登米小	3 学年	千葉直子	教諭
迫町	佐沼小	4 学年	飯塚豊	教諭
東和町	嵯峨立小	5 学年	佐藤教子	教諭
東和町	米谷小	6 学年	及川茂法	教諭
米山町	米山中	社会科	及川喬	教諭
南方町	南方中	社会科	佐藤徳明	教諭

平成元年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名	
中田町	石森小	2 学年	畠山蓉子	教諭
南方町	南方小	3 学年	小野寺蔦	教諭
石越町	石越小	3 学年	石山順	教諭
迫町	新田第一小	5 学年	石合克行	教諭
米山町	米岡小	5 学年	日野峻	教諭
東和町	米谷小	6 学年	桜井浩志	教諭
迫町	佐沼中	社会科	菊池信夫	教諭
中田町	中田中	社会科	吉野幸信	教諭

# 歴代租税教育推進協力者

平成2年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
迫町	森小	5 学年	菅原一子 教諭
中田町	石森小	6 学年	高橋節子 教諭
南方町	南方小	5 学年	小野寺 薫 教諭
石越町	石越小	1 学年	石山 順 教諭
迫町	北方小	4 学年	石合 克行 教諭
米山町	米岡小	5 学年	日野 峻 教諭
迫町	新田中	社会科	千葉 忠徳 教諭
石越町	石越中	社会科	二階堂 和夫 教諭

平成3年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
迫町	森小	3 学年	菅原一子 教諭
東和町	錦織小	4 学年	及川 晃史 教諭
東和町	米川小	5 学年	小野寺 夕へ子 教諭
中田町	石森小	5 学年	高橋 節子 教諭
中田町	浅水小	5 学年	末永 澄子 教諭
中田町	加賀野小	6 学年	佐藤 美恵 教諭
登米町	登米中	社会科	矢内 昭裕 教諭
東和町	東和中	社会科	小野寺 達郎 教諭

平成4年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
迫町	佐沼小	3 学年	大場 しの 教諭
迫町	新田第二小	4 学年	高橋 眞理 教諭
南方町	西郷小	6 学年	齋藤 裕之 教諭
中田町	浅水小	3 学年	末永 澄子 教諭
豊里町	豊里小	5 学年	熊坂 昭子 教諭
東和町	錦織小	6 学年	及川 晃史 教諭
豊里町	豊里中	社会科	畠山 俊彦 教諭
米山町	米山中	社会科	小野 敦史 教諭

平成5年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
迫町	新田第一小	5 学年	菊池 敏一 教諭
迫町	新田第二小	4 学年	高橋 眞理 教諭
豊里町	豊里小	6 学年	熊谷 昭子 教諭
中田町	宝江小	6 学年	須藤 勝子 教諭
米山町	善王寺小	4 学年	太田 弥 教諭
南方町	東郷小	5 学年	千葉 一彦 教諭
中田町	中田中	社会科	畠山 俊彦 教諭
南方町	南方中	社会科	佐々木 由美 教諭

# 歴代租税教育推進協力者

平成6年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
南方町	東郷小	6 学年	千葉一彦 教諭
石越町	石越小	6 学年	高橋節子 教諭
中田町	桜場小	6 学年	菅原啓士 教諭
中田町	新井田小	6 学年	森田久 教諭
東和町	鱒淵小	5 学年	佐藤孝文 教諭
迫町	北方小	6 学年	高橋純 教諭
石越町	石越中	社会科	矢内昭裕 教諭
迫町	新田中	社会科	中津川英樹 教諭

平成7年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
迫町	佐沼小	6 学年	庄子裕 教諭
中田町	宝江小	6 学年	鈴木久美 教諭
東和町	嵯峨立小	6 学年	須藤勝子 教諭
登米町	登米小	5 学年	沼倉弘子 教諭
米山町	中津山小	5 学年	門田洋之 教諭
豊里町	豊里小	5 学年	長南忠男 教諭
米山町	米山中	社会科	小野寺文晃 教諭
中田町	中田中	社会科	佐々木正生 教諭

平成8年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
迫町	新田第一小	6 学年	清和幸彦 教諭
登米町	登米小	6 学年	沼倉弘子 教諭
東和町	米谷小	6 学年	渋谷雄二郎 教諭
中田町	石森小	6 学年	高橋晋 教諭
豊里町	豊里小	5 学年	鈴木有 教諭
米山町	中津山小	6 学年	門田洋之 教諭
石越町	石越小	T T	佐藤浩子 教諭
南方町	西郷小	5 学年	小野寺夕へ子 教諭
迫町	佐沼中	社会科	大場正浩 教諭
豊里町	豊里中	社会科	渡邊淳一 教諭

平成9年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
迫町	新田第一小	4 学年	清和幸彦 教諭
登米町	登米小	6 学年	寺川雅洋 教諭
東和町	錦織小	6 学年	石川克行 教諭
中田町	上沼中央小	6 学年	皆川寛 教諭
豊里町	豊里小	5 学年	長南忠男 教諭
米山町	中津山小	6 学年	後藤俊朗 教諭
石越町	石越小	6 学年	高橋敏子 教諭
南方町	西郷小	5 学年	佐藤和枝 教諭
東和町	東和中	社会科	佐々木正生 教諭
南方町	南方中	社会科	藤浦悟 教諭

# 歴代租税教育推進協力者

平成10年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
迫町	新田第二小	6 学年	菅原博 教諭
登米町	登米小	6 学年	佐々木勝江 教諭
東和町	嵯峨立小	6 学年	高橋秀憲 教諭
中田町	上沼小	5 学年	鈴木典幸 教諭
豊里町	豊里小	5 学年	水沼勝 教諭
米山町	桜岡小	6 学年	菅原善彦 教諭
石越町	石越小	5 学年	熱海宏明 教諭
南方町	南方小	6 学年	佐藤秀明 教諭
登米町	講師	社会科	三浦秀治 教諭
石越町	石越中	社会科	山家英樹 教諭

平成11年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
迫町	新田第二小	3 学年	菅原博 教諭
登米町	登米小	6 学年	萩田志保子 教諭
東和町	米谷小	5 学年	鈴木真理 教諭
中田町	浅水小	5 学年	佐藤教子 教諭
豊里町	豊里小	5 学年	兵藤清美 教諭
米山町	中津山小	6 学年	佐藤勉 教諭
石越町	石越小	5 学年	桜井ひろみ 教諭
南方町	東郷小	5 学年	熊谷俊子 教諭
迫町	新田中	社会科	中津川英樹 教諭
米山町	米山中	社会科	石田康之 教諭

平成12年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
迫町	北方小	T T	岩渕安弘 教諭
登米町	登米小	6 学年	熱海宏明 教諭
東和町	錦織小	5 学年	菅原善彦 教諭
中田町	桜場小	5 学年	佐藤美紀子 教諭
豊里町	豊里小	5 学年	後藤智子 教諭
米山町	米岡小	5 学年	秀由佳 教諭
石越町	石越小	5 学年	野里恵二 教諭
南方町	西郷小	5 学年	笹原明美 教諭
迫町	佐沼中	社会科	大場正浩 教諭
中田町	中田中	社会科	箱石雄悟 教諭

平成13年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
迫町	森小	4 学年	金野ゆかり 教諭
登米町	登米小	6 学年	飯塚市代 教諭
東和町	鱒淵小	6 学年	中井充夫 教諭
中田町	石森小	5 学年	岩渕公一 教諭
豊里町	豊里小	5 学年	矢野美智代 教諭
米山町	善王寺小	5 学年	遠藤聡子 教諭
石越町	石越小	5 学年	佐藤眞紀 教諭
南方町	南方小	6 学年	石井大志 教諭
東和町	東和中	社会科	高橋和芳 教諭
豊里町	豊里中	社会科	矢内昭裕 教諭

# 歴代租税教育推進協力者

平成14年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
迫町	森小	6 学年	千葉 ゆかり 教諭
登米町	登米小	6 学年	後藤 俊朗 教諭
東和町	米川小	5 学年	佐藤 建雄 教諭
中田町	加賀野小	5 学年	渡邊 宏紀 教諭
豊里町	豊里小	5 学年	伊藤 悦子 教諭
米山町	桜岡小	6 学年	蓬田 昭彦 教諭
石越町	石越小	5 学年	庄司 紀子 教諭
南方町	東郷小	5 学年	千葉 裕子 教諭
南方町	講師	社会科	小野寺 彰哉 教諭
登米町	登米中	社会科	藤浦 悟 教諭

平成15年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
迫町	新田第二小	5 学年	門田 りえ 教諭
登米町	登米小	5 学年	三浦 教順 教諭
東和町	嵯峨立小	5 学年	加瀬谷 武敏 教諭
中田町	新井田小	6 学年	高橋 広満 教諭
豊里町	豊里小	5 学年	千葉 浩幸 教諭
米山町	中津山小	5 学年	村上 喜久美 教諭
石越町	石越小	5 学年	山口 沙織 教諭
南方町	西郷小	5 学年	遠藤 恵 教諭
迫町	新田中	社会科	山家 英樹 教諭
石越町	石越中	社会科	中津川 英樹 教諭

平成16年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
迫町	北方小	6 学年	佐藤 浩人 教諭
登米町	登米小	5 学年	佐藤 裕 教諭
東和町	米谷小	6 学年	佐藤 康 教諭
中田町	宝江小	6 学年	佐藤 祥子 教諭
豊里町	豊里小	5 学年	佐藤 裕志 教諭
米山町	米岡小	6 学年	阿部 孝紀 教諭
石越町	石越小	5 学年	高橋 美至 教諭
南方町	南方小	5 学年	佐々木 和枝 教諭
米山町	米山中	社会科	箱石 雄悟 教諭
中田町	中田中	社会科	吉田 淳子 教諭

平成17年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
佐沼小	佐沼小	6 学年	千葉 克憲 教諭
錦織小	錦織小	5 学年	佐藤 理英 教諭
石森小	石森小	5 学年	鹿野 俊洋 教諭
加賀野小	加賀野小	6 学年	鈴木 周 教諭
中津山小	中津山小	5 学年	伊藤 伸子 教諭
桜岡小	桜岡小	6 学年	鈴木 明美 教諭
東郷小	東郷小	5 学年	千葉 裕子 教諭
柳津小	柳津小	6 学年	加藤 浩二 教諭
佐沼中	佐沼中	社会科	伊藤 志穂 教諭
豊里中	豊里中	社会科	寺内 篤 教諭



# 歴代租税教育推進協力者

平成18年度

(順不同)

所 属	担任・担当	氏 名	
新田第一小	6 学 年	秋 葉 徹	教諭
嵯峨立小	5・6 学 年	渡 邊 宏 紀	教諭
上 沼 小	6 学 年	熊 谷 真 理 子	教諭
浅 水 小	6 学 年	鈴 木 勝 彦	教諭
豊 里 小	6 学 年	寺 内 篤	教諭
善王寺小	5・6 学 年	菅 原 満 夫	教諭
西 郷 小	5 学 年	千 葉 洋 子	教諭
横 山 小	5 学 年	佐 藤 秀 俊	教諭
東 和 中	社 会 科	高 橋 和 芳	教諭
南 方 中	社 会 科	菅 原 栄 治	教諭

平成19年度

(順不同)

所 属	担任・担当	氏 名	
新田第二小	6 学 年	永 倉 郁 裕	教諭
米 川 小	6 学 年	萩 原 達 也	教諭
鱒 淵 小	3・4 学 年	長 南 忠 男	教諭
宝 江 小	6 学 年	佐 藤 朱 美	教諭
中 津 山 小	6 学 年	米 島 久 智	教諭
米 岡 小	6 学 年	三 浦 弘 義	教諭
石 越 小	6 学 年	高 橋 聡 子	教諭
南 方 小	6 学 年	鈴 木 久 美	教諭
登 米 中	社 会 科	藤 浦 悟	教諭
津 山 中	社 会 科	飯 川 弘 芳	教諭

平成20年度

(順不同)

所 属	担任・担当	氏 名	
北 方 小	6 学 年	菅 原 善 彦	教諭
森 小	特別支援	芳 賀 明 洋	教諭
桜 岡 小	6 学 年	千 葉 高	教諭
善王寺小	6 学 年	菅 原 満 夫	教諭
中 津 山 小	6 学 年	村 上 喜 久 美	教諭
米 谷 小	5 学 年	佐 々 木 里 香	教諭
石 森 小	5 学 年	澁 谷 智 樹	教諭
加 賀 野 小	6 学 年	大 友 厚 子	教諭
新 田 中	社 会 科	箱 石 雄 悟	教諭
石 越 中	社 会 科	田 口 勇 介	教諭

平成21年度

(順不同)

所 属	担任・担当	氏 名	
佐 沼 小	6 学 年	千 葉 恵 理 子	教諭
森 小	5 学 年	鈴 木 淳	教諭
錦 織 小	6 学 年	芳 賀 明 洋	教諭
浅 水 小	6 学 年	小 野 寺 博 美	教諭
米 岡 小	6 学 年	佐 藤 英 明	教諭
南 方 小	6 学 年	高 橋 敏 子	教諭
柳 津 小	6 学 年	菅 原 満 夫	教諭
佐 沼 中	社 会 科	小 山 紘 明	教諭
米 山 中	社 会 科	守 康 幸	教諭

# 歴代租税教育推進協力者

平成22年度

(順不同)

所 属	担任・担当	氏 名
北 方 小	6 学 年	皆 川 寛 教諭
米 谷 小	社会科主任	小 畠 宏 夫 教諭
石 森 小	5 学 年	澁 谷 智 樹 教諭
上 沼 小	6 学 年	佐 藤 美 紀 子 教諭
中 津 山 小	6 学 年	伊 藤 秀 樹 教諭
石 越 小	6 学 年	幡 江 真 穂 教諭
東 郷 小	6 学 年	鈴 木 有 教諭
横 山 小	6 学 年	及 川 信 太 郎 教諭
豊 里 中	社会科	井 上 鮎 香 教諭
南 方 中	社会科	富 安 隆 文 教諭

平成23年度

(順不同)

所 属	担任・担当	氏 名
新 田 小	6 学 年	箱 石 雄 悟 教諭
登 米 小	6 学 年	伊 藤 敬 教諭
米 川 小	6 学 年	渡 邊 宏 紀 教諭
宝 江 小	6 学 年	進 藤 俊 博 教諭
豊 里 小	6 学 年	小 野 寺 美 和 教諭
米 山 東 小	6 学 年	五 十 嵐 裕 子 教諭
西 郷 小	6 学 年	長 南 忠 男 教諭
柳 津 小	5 学 年	菅 原 満 夫 教諭
中 田 中	社会科	中 津 川 英 樹 教諭
津 山 中	社会科	飯 川 弘 芳 教諭

平成24年度

(順不同)

所 属	担任・担当	氏 名
佐 沼 小	6 学 年	関 根 大 悟 教諭
森 小	6 学 年	後 藤 智 子 教諭
錦 織 小	2 学 年	芳 賀 明 洋 教諭
加 賀 野 小	6 学 年	加 藤 め ぐ み 教諭
浅 水 小	6 学 年	山 田 紀 子 教諭
米 岡 小	6 学 年	佐 藤 正 彦 教諭
南 方 小	4 学 年	大 槻 征 玄 教諭
東 郷 小	6 学 年	後 藤 大 典 教諭
東 和 中	社会科	藤 浦 悟 教諭
石 越 中	社会科	伊 藤 圭 講師

平成25年度

(順不同)

所 属	担任・担当	氏 名
北 方 小	6 学 年	佐 藤 純 教諭
米 谷 小	6 学 年	阿 部 孝 紀 教諭
石 森 小	5 学 年	千 葉 裕 子 教諭
上 沼 小	6 学 年	佐 藤 勉 教諭
中 津 山 小	5 学 年	菅 原 真 理 教諭
石 越 小	6 学 年	門 田 洋 之 教諭
西 郷 小	6 学 年	佐 藤 眞 紀 教諭
横 山 小	教務主任	鈴 木 明 美 教諭
登 米 中	社会科	遠 藤 孝 講師
米 山 中	社会科	清 水 裕 治 教諭

平成 27 年 3 月

発行者 登米市租税教育推進協議会

租税教育用教材・資料・DVD 等に関するご意見、ご要望を下記までお寄せください。

佐沼税務署 総務課（事務局） （0220）22－2501